

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

		平成26年度助成金 (実績)		平成26年度助成金 (計画)
I. プロ・ナトゥーラ・ファンド助成  (創立20周年特別助成)	国内研究助成	16件	12,210	25,000
	国内活動助成	11件	8,900	
	海外助成	5件	4,600	
	小計	32件	25,710	25,000
	南西諸島(2年目)	4件	3,779	3,780
	計	36件	29,489	28,780
II. 直接助成		4件	7,500	3,000
III. ナショナル・トラスト活動助成		0件	0	6,000
	合計	40件	36,989	37,780

## 2. 助成金交付一覧

### I. 2014年度（第25期）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成先一覧

【国内研究助成】

(単位：千円)

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	対馬に侵入した外来種ツマアカスズメバチによる在来生態系に与える影響評価	ツマアカスズメバチ対策研究会	高橋純一 (京都産業大)	1,000	1,000
2	有明海再生までの過程を明らかにする採泥・採水調査の継続	有明海保全生態学研究グループ	東 幹夫 (長崎大)	1,020	1,020
3	北アルプス太郎兵衛平周辺における融雪・植生状況の変動とライチョウの利用環境の関係	北アルプス高山環境保全研究会	上野 薫 (中部大)	1,000	1,000
4	国の天然記念物・ミヤコタナゴ新規発見集団の遺伝構造解析	信州大学 理学部 生物科学科 進化生物学講座・東城研究室	東城幸治 (信州大)	1,000	1,000
5	ソングメーターを用いての福岡県小屋島におけるヒメクロウミツバメの繁殖調査	海鳥保全グループ	大槻都子	1,000	800
6	自動撮影カメラ映像の3次元モデリングによるニホンジカの密度推定手法の確立と調査プロトコルの作成	ニホンジカ密度推定法開発グループ	中島啓裕 (日本大)	1,000	700
7	日本の干潟に生息する絶滅危惧うみにな類の生息地保全にむけての緊急調査および保全遺伝学的研究	日本の干潟のうみにな類を保全する会	小澤智生 (サカルス大)	1,000	700
8	絶滅が危惧され、アリの巣に寄生するチョウ、日本産ゴマシジミの寄主アリ特異性の検証	チョウ・アリ生物間相互作用研究グループ	上田昇平 (信州大)	1,000	700
9	沿岸開発が進行中の琉球列島におけるサンゴ礁防波堤形成生物とその機能の衰退リスク評価	琉球大学・沖縄工業高等専門学校合同サンゴ礁調査グループ	本郷宙軌 (琉球大)	990	700
10	両生類の新興病原体ラナウイルスの国内分布とその由来に関する研究	麻布大学	宇根有美 (麻布大)	950	670
11	南西諸島におけるヤシガニ資源の保護と保全に関する基礎研究	NPO法人 海の自然史研究所	藤田喜久	1,000	700
12	絶滅危惧種チュウヒの個体群増殖を意図した繁殖成績改善に関する研究	NPO法人チュウヒ保護プロジェクト	高橋佑亮 (岩手大)	900	630
13	新たな生息地の探索に向けた絶滅危惧種イシガキニイニイの鳴音を活用した種判別方法の策定	八重山ニイニイゼミ研究グループ	立田晴記 (琉球大)	1,000	700
14	八重山諸島固有チョウ類の「サンドイツチ型分布」を対象とした保全生態学的研究	進化保全生態学研究グループ	鈴木紀之 (東北大)	1,000	700
15	生物多様性、景観保全の観点から、農村整備（圃場整備事業等）計画に対する地域住民の合意形成手法に関する研究	東京農業大学地域環境科学部造園科学科自然環境保全学研究室	町田怜子 (東京農業大)	723	510
16	【常勤理事推薦】石灰岩地帯に隔離分布する絶滅危惧種チブミネバリの保全に関する研究	奥秩父山地石灰岩植物研究グループ	平尾聡秀 (東京大)	970	680
国内研究助成 16件			小計	15,553	12,210

【国内活動助成】

	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	辺野古・大浦湾海域の生物多様性の保全を目指す、生物多様性の解明と埋め立ての影響を測るための調査	日本自然保護協会	志村智子	1,000	1,000
2	南大東島におけるネコの適正飼育による野生動物の保護活動	NPO法人どうぶつたちの病院 沖縄	長嶺 隆	1,000	1,000
3	在来植物、コウライシバ、クロイワザサの植栽によるイリオモテヤマネコの交通事故防止	西表在来植物の植栽で地域振興を進める会	高相徳志郎 (琉球大)	780	780
4	アライグマ・クサガメにより存続が危惧されるニホンイシガメ南房総個体群の保全活動	千葉県ニホンイシガメ保護対策協議会	長谷川雅美 (東邦大)	1,000	1,000
5	ネオニコチノイド農薬についての知識の普及と削減にむけた各地の取り組みの支援・情報収集 ネオニコ削減実践例集	NPO法人ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議	水野玲子	1,000	900
6	御蔵島をノネコのいない島に戻す活動	公益財団法人 山階鳥類研究所	岡 奈理子	1,000	900
7	ミヤマシジミの保全技術の研究と信州の生物多様性保全の普及活動	ミヤマシジミ研究会	中村寛志 (信州大)	750	680
8	市民生物学者らによる日本産アカウミガメの繁殖生態・保護・産卵地環境の総括	特定非営利活動法人日本ウミガメ協議会	松沢慶将	1,150	810
9	芦生天然林保全へ向けた中山間地域と大学の「知」の結びつきによる活動体制の形成	京都大学フィールド科学教育研究センター	徳地直子 (京都大)	1,000	700
10	伊豆諸島青ヶ島・利島の植生シンポジウム開催と植生誌編纂	伊豆諸島植生研究グループ	上條隆志 (筑波大)	440	440
11	世界遺産富士山のロードキル実態調査及び情報公開プロジェクト	富士山アウトドアミュージアム	舟津宏昭	983	690
		国内活動助成 11件	計	10,103	8,900

【海外助成】

	テーマ	申請者名	推薦者	申請額	助成額
1	Study of the Distribution and Population Status of Bornean Rhinoceros which is re-discovered in Kalimantan, Indonesia for the first time in 20 years	Yuyun Kurniawan (ムルワルマン大学ボルネオサイ研究グループ 大学院生)	鯨島弘光 (京大東南アジア研究所)	US\$10,000	1,070
2	Assessing impact of climate change on high altitude small mammal in alpine Himalaya, India: An interdisciplinary approach	Sabuj Bhattacharyya (国立インド科学研究所生態科学センター 研究補助員)	川道武男 (関西野生生物研究所)	US\$12,880	1,100
3	グアテマラにおける環境教育教材としての昆虫ハンドブックの作成	吉本治一郎 (グアテマラ・デル・バジェ大学 客員研究員)	西田隆義 (滋賀県立大)	US\$7,800	580
4	Status, Habitat Preference and Distribution of Red Panda <i>Ailurus fulgens</i> in Taplejung District, Northeastern Nepal	Roshani Manandhar (トリブヴァン大学 教授)	小林幹夫 (宇都宮大)	US\$9,370	900
5	Potential Effects of Climate Change on the Distribution Range of Living Fossil Plants in China	Tang Qin (雲南大学生態学・地植物学研究所 教授)	富田瑞樹 (東京情報大)	US\$12,685	950
		海外助成 5件	計	US\$52,735	4,600

\*1US\$=107円にて計算

## 【南西諸島特別助成（継続2年）】

(単位：円)

	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	南西諸島の固有小型絶滅危惧哺乳類（トゲネズミ・ケナガネズミ）の保全調査	琉球諸島小型哺乳類研究グループ	城ヶ原貴通（岡山理科大学理学部動物学科講師）	3,000,000	3,000,000
				(2年目)	1,475,000
2	琉球諸島の生物多様性の固有性の解明とその保全に関する統合的研究	琉球諸島生物多様性研究グループ	久保田康裕（琉球大学理学部准教授）	2,547,600	2,347,600
				(2年目)	540,600
3	名護市大浦湾のアオサンゴ群落の保全に向けた生殖等の基礎調査	大浦湾のアオサンゴ研究チーム	山城秀之（琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設教授）	708,000	708,000
				(2年目)	258,000
4	南西諸島に生息する造礁サンゴの多重スケールにおける保全遺伝学的研究	OISTサンゴ礁保全遺伝学研究グループ	中島祐一（沖縄科学技術大学大学院研究員）	3,000,000	2,950,000
				(2年目)	1,506,000
南西諸島特別助成 4件			計	9,255,600 (2年目)	9,005,600 3,779,600

(単位：千円)

プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 合計	29,489
--------------------	--------

## II. 平成26(2014)年度 直接助成交付一覧

(単位：千円)

No.	テーマ	グループ名	代表者名	申請額	助成額
1	第12回生物多様性条約締約国会議(CBD/COP12)における世界のNGO/市民社会の貢献に向けた共同活動	NPO法人ラムサール・ネットワーク日本	柏木 実	1,500	1,500
2	ジオパークにおける大地の多様性の保全に関する国際的事業	ジオパークにおける大地の多様性の保全に関する国際的事業	米田 徹	500	500
3	ユネスコエコパークネットワーク活動の促進	日本MAB計画委員会事務局	酒井暁子	500	500
4	ボルネオ島アラベラ・シュウォーナー・ランドスケープにおける、企業・地域住民が主体となるボルネオオラウータン保全活動	公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)	筒井隆司	5,000	5,000
直接助成 4件			合計	7,500	7,500

(単位：千円)

総額	36,989
----	--------